

平成28年(2016年)4月25日(月曜日)

三島の湧水環境を学ぶ サウジの研修団訪問



サウジアラビアの若手リーダー育成組織「キング・サルマン・ユースセンター」の研修団が24日、三島市を訪れ、豊かな湧水環境から環境保護の取り組みを学んだ。

研修団の参加者は大抵学生や会社員ら16人。NPO法人グラウンドワーク(GW)三島の職員が案内役を務めた。かつての汚染から

GW三島の取り組みを学ぶ
研修団＝三島市の三島梅花
藻の里

清流が復活した源兵衛川では、関係団体が積極的に再生活動に臨む姿勢を鮮明にすることで、地元住民との合意を形成していった経緯などを学んだ。三島梅花藻の里なども訪れ、GW三島の活動に理解を深めた。研修団の会社員ノール・マーゼン・ファタヤニさん(28)は「散歩道も整備され、湧水が生活の一部になっている。環境保護には住民意識の改革が何より重要と感じた」と振り返った。